

平成30年度 第2回 民間技術発表会

聴講者を募集します

- 日 時 平成31年 2月 1日(金) 13:30 ~ 16:00 (13:00より受付開始)
- 場 所 東北地方整備局 港湾空港部 会議室
仙台市青葉区本町3-1-1 仙台合同庁舎B棟 9F
- 定 員 50名程度(先着順)
- 参加費 無 料

紹介技術

- Re-Pier工法
- 遠隔現場支援システム「xSync Prime Collaboration」
- ジオドレーンSPD工法
- 栈橋施工を対象としたCIMの導入
- クレーンカメラ映像検知システム

お申込み方法

FAXで参加希望者の氏名・連絡先をお申込み下さい。
(裏面の申込用紙をご利用下さい)

お問い合わせ先

仙台港湾空港技術調査事務所 技術開発課
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡5-1-35
三共仙台東ビル7F
TEL:022-791-2113



平成30年度 第2回民間技術発表会

【民間技術発表会とは？】

東北地方の港湾・空港整備、調査等で活用が期待される民間等で開発された新技術について、情報収集や発信の場として、毎年定期的に開催しております。

参加費無料でどなたでも参加していただけますので、この機会にぜひご参加ください。

【技術概要】

「Re-Pier 工法」[あおみ建設(株)]

既設栈橋の耐震補強や延命化、増深化を目的に、鋼管杭を補強部材(伸縮ストラット部材)で連結して栈橋全体を補強する工法。上部工を撤去せずに既設栈橋の補強が可能。

遠隔現場支援システム「xSync Prime Collaboration」[(株)ブイキューブ、りんかい日産建設(株)]

現場と現場事務所とが遠隔に位置する港湾工事の施工管理において、ICTを活用し、映像、音声と電子データをもとに、双方でリアルタイムに情報共有が可能な遠隔現場支援システム。

「ジオドレーンSPD工法」[ジオドレーン協会]

軟弱地盤の圧密促進を目的とした真空圧密工法の1種。環境配慮型の材料を用いることが可能で、盛土不要と併せて環境に優しい工法。

「栈橋施工を対象としたCIMの導入」[五洋建設(株)]

国土交通省の推進するCIMの取り組みの中で、3次元モデルを中心に業務や工事の合理化を進めており、将来的には建設プロセス全体の生産性向上が期待されている。今回は、施工業者の立場から港湾工事におけるCIMの取り組みについて紹介する。

「クレーンカメラ映像検知システム」[東洋建設(株)]

港湾工事におけるクレーン作業で、クレーンの吊り荷付近で作業する作業員をクレーンカメラの映像から検出し、クレーン操縦者に吊り荷と作業員の接近を通知するシステム。

FAX 申込み用紙

氏 名	住所または所属会社名	連 絡 先

FAX 番号:022-292-5366 (個人情報は、本発表会開催目的以外には使用しません)

* 申込み多数の場合は、早期に募集を締め切る場合がありますのでご了承ください。